

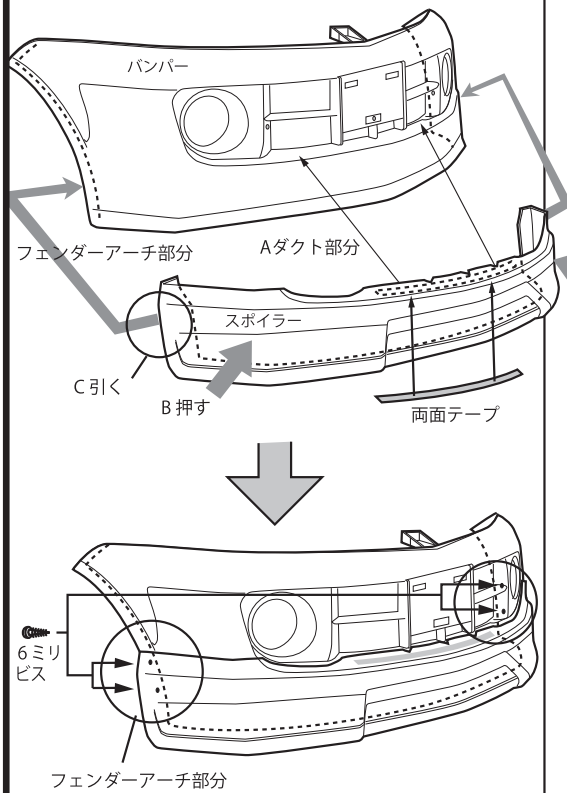
# YRV

## 取付説明書

この度は当社の製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。  
本書はYRVにスポイラーを取り付ける場合の取付要領について記載しています。  
取付前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

◇本品を改造しての取付は絶対しないで下さい。◇記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予めご了承下さい。  
◆塗装前に必ず仮合わせを行ってください。◆作業は全てタイヤを外して行って下さい。◆取り付け上の不備による不具合及び、塗装後の返品には応じられませんので御注意下さい。

### FRONT SPOILER



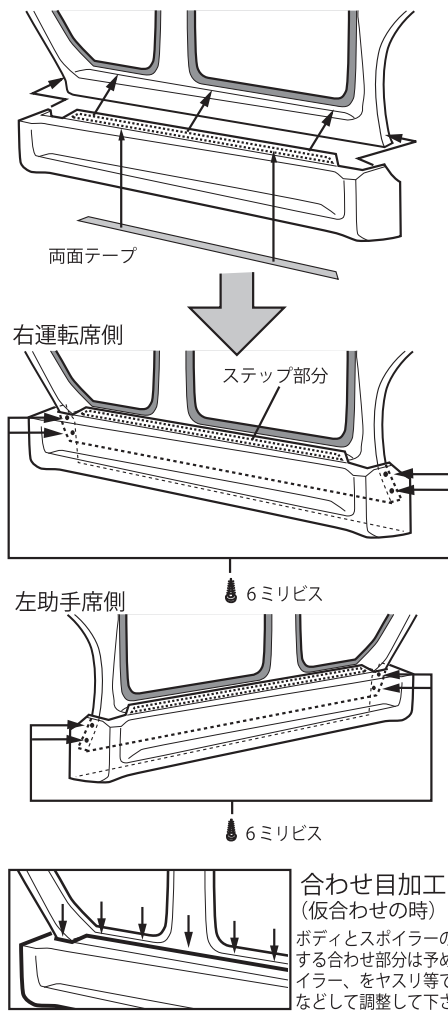
- 1) 純正エアロ装着車は予め純正フロントスポイラーを外して下さい。
- 2) バンパーを車体から外します。
- 3) スポイラーのダクト部分の内側に両面テープを貼ります。
- 4) スポイラーのダクト部分Aをバンパーに差し込みBの箇所を押しながらCのフェンダー部分を引っ張りバンパーにかぶせて下さい。
- 5) 作業は左右片側ずつ行って下さい。
- 6) スポイラーをバンパーに被せた状態が、正確であるかを確認した後、フェンダーアーチ部分、左右各2カ所にスポイラーとバンパードリルに3ミリの貫通穴を開け6ミリの付属ビスで固定して下さい。
- 7) スポイラーを装着したバンパーを外した時と逆の手順で取り付けて下さい。

#### 注意

- ◆バンパーの構造上スポイラーが入りづらい場合は、バンパーのフェンダーアーチ部分を押しながらスポイラーを入れて下さい。
- ◆ボディに傷が付かない用にバンパーとの境目や、スポイラーがバンパーに当たる部分にメンディングテープ等で予めガードしてから作業を行ってください。
- ◆作業は安全性の為、2人以上で行って下さい。

**合わせ目加工 (仮合わせの時)**  
ボディとスポイラーの接触する合わせ部分は予めスポイラー、をヤスリ等で削るなどして調整して下さい。

### SIDE STEP



- 1) 純正エアロ装着車は予めサイドステップを外して下さい。
- 2) あらかじめのサイドステップの部分の内側に両面テープを貼ります。ドアにサイドステップを仮合わせします。フロントやリアスポイラーに角度を合わせて位置決めをして下さい。
- 3) フロント及びリアフェンダーに2箇所ずつボディのフェンダーアーチに合わせドリルで3ミリの穴を開け6ミリの付属ビスで固定して下さい。ステップ部分は両面テープの表紙を剥がし固定して下さい。

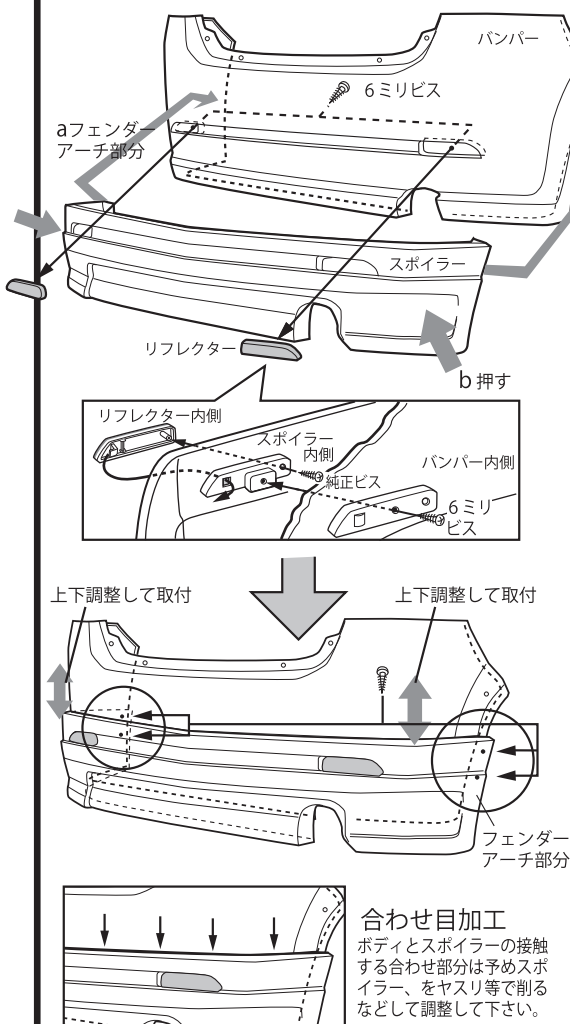
(サイドステップ運転席側 助手席側とも共通)

#### 注意

- ◆ボディに傷が付かない用にバンパーとの境目や、スポイラーがバンパーに当たる部分にメンディングテープで予めガードしてから作業を行ってください。
- ◆作業は安全性の為、2人以上で行って下さい。

**合わせ目加工 (仮合わせの時)**  
ボディとスポイラーの接触する合わせ部分は予めスポイラー、をヤスリ等で削るなどして調整して下さい。

### REAR SKIRT



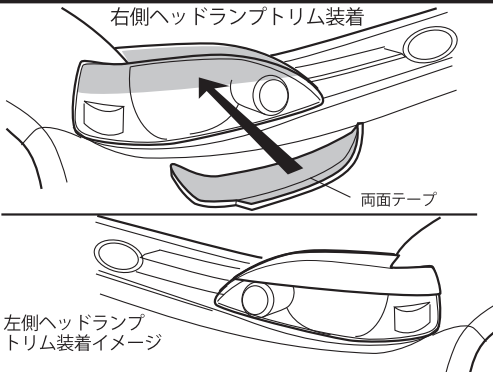
- 1) バンパーを車体から外します。
- 2) リフレクターをバンパーから外しスポイラーに純正同様フック部分とビスで固定して下さい。
- 3) aスポイラー片側のフェンダー部分をバンパーにかぶせて下さい。  
b側部を押すようにしてもう片側のフェンダー部分を引っ張る様にしてバンパーを被せて下さい。(作業は左右片側ずつ行って下さい。)
- 3) スポイラーをバンパーに被せた状態が、正確であるかを確認した後、フェンダーアーチ部分、左右各2カ所にスポイラーとバンパードリルに3ミリの貫通穴を開け6ミリの付属ビスで固定して下さい。
- 4) スポイラーを装着したバンパーを外した時と逆の手順で取り付けて下さい。

#### 注意

- ◆ボディに傷が付かない用にバンパーとの境目や、スポイラーがバンパーに当たる部分にメンディングテープ等で予めガードしてから作業を行ってください。
- ◆作業は安全性の為、2人以上で行って下さい。

**合わせ目加工**  
ボディとスポイラーの接触する合わせ部分は予めスポイラー、をヤスリ等で削るなどして調整して下さい。

### HEAD LAMP TRIM

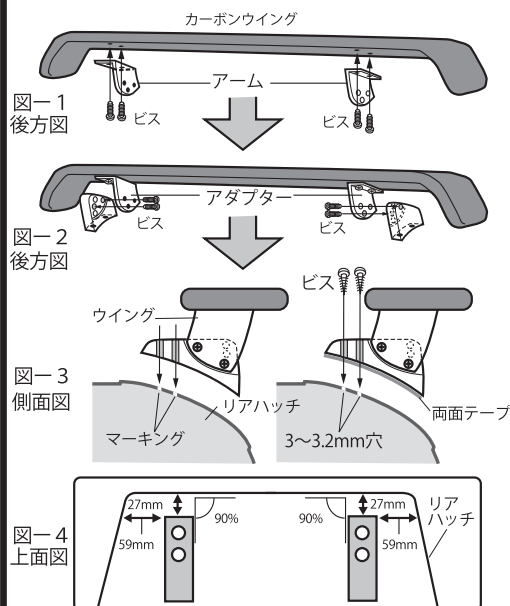


- 1) 貼り付け部の汚れは事前に拭き取ってから行って下さい。
- 2) ヘッドランプトリムの裏面に両面テープを貼り、ライト形状に合わせて貼り付けて下さい。(左右とも同様)

#### 注意

- ◆ボディに傷が付かない用に十分注意をして作業を行ってください。

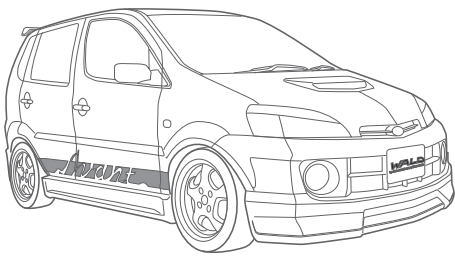
### RACING WING



- 1) 純正リアスポイラー装着車は取り外して下さい。取付穴は後処理を行ってください。
- 2) カーボンウイングに取付アームをビスでしっかりと固定して下さい。(左右とも同様) 図-1
- 3) アームにアダプターをビスでかなりゆるめに止めて下さい。(左右とも同様) 図-2
- 4) リアハッチに組んだウイングを図-3・5の位置に合わせマーキングし、取付穴を開けます。(3mm~3.2mmの穴)
- 5) 4)の穴にコーキング剤を塗る。
- 6) アダプターの両面テープ下の紙を剥がし、ウイングのアダプターとボディを止めた後アームとアダプターを好みの角度で固定。 図-5

#### 注意

- ◆作業は安全性の為、2人以上で行って下さい。
- ◆図の寸法は参考寸法ですので取付時は調整しながら取付。



# エントランスモール YRV 取付説明書

## ⚠ 注意

- ◆本製品を貼り付けた後、カッター等を直接部品の不要部分を切り抜くのは破損につながる恐れがありますのでおやめ下さい。
- ◆本製品を使用後剥がす際には、塗装と一緒に剥がれないように十分ご注意ください。指定外の所に本製品を使用するのはおやめ下さい。
- ◆本製品をお子様の手が届く場所に放置するのはおやめ下さい。又、用途以外の目的に使用するはおやめ下さい。
- ◆本製品は改良・改善の為、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承下さい。
- ◆商品開封時や、取り付け作業中に怪我をしないようにご注意ください。

## 製品について

- ◆お客様ご本人または第三者の方が、この製品及び付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた損害については弊社は一切のその責任を負いませんので、予めご了承下さい。
- ◆本製品は改良自動車に適合するものではありません。改造自動車に装着する場合は法令で定められた改造申請等の届け出をして検査合格後にご使用下さい。但し、その場合自動車に損傷する事がありまして、弊社は一切のその責任を負いませんので、予めご了承下さい。
- ◆本製品及び付属品に改造などを加え、指定車両以外の自動車に取り付けて発生する不具合、自動車に損傷する事がありまして、弊社は一切のその責任を負いませんので、予めご了承下さい。又、貼り付け後の返品には応じられませんのでご注意ください。
- ◆本製品の取り付け、及び取り外し作業中に損傷した本体及びボディに関し、弊社は一切のその責任を負いませんので、予めご了承下さい。
- ◆本品及び付属品は、改良のため予告なく変更する場合があります。

## 張り込む面のホコリや油分を取り除く

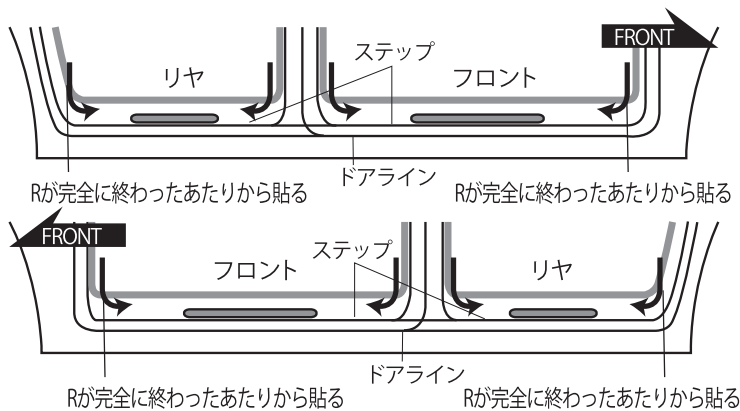
# 1

## 位置を決めて、マーキングをする。

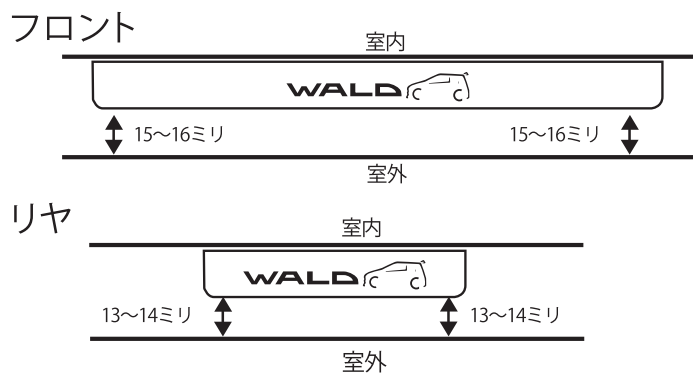
# 2

- ◆下図の位置にエントランスモールを合わせマーキングして下さい。(Rが完全に終わった平らな面に貼ります。)

側面図



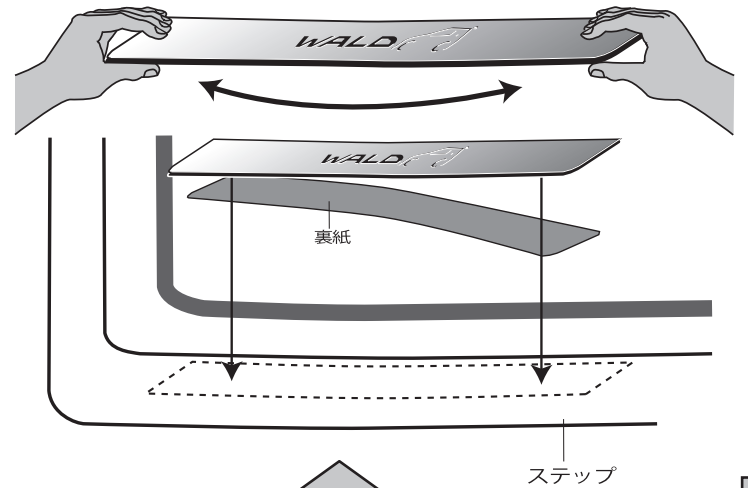
上面図 (左右共通)



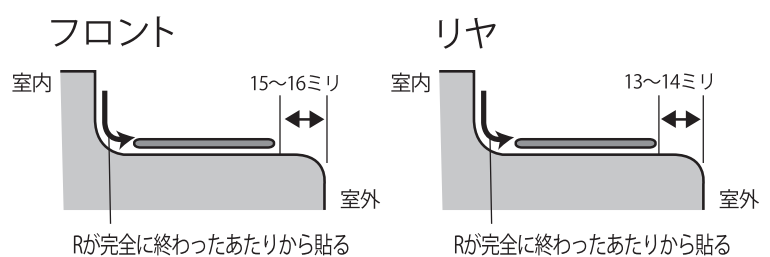
## エントランスモールを貼る。

# 3

- ◆貼り合わせる前に充分仮合わせをして下さい。その際、貼る前に若干のRが付いていますので必要に応じてエントランスモールを軽く手で形状に合わせて沿わせて下さい。沿わせ過ぎるとハガレの原因になりますのでご注意ください。裏紙を剥がしてマーキングに合わせて張り付けて下さい。

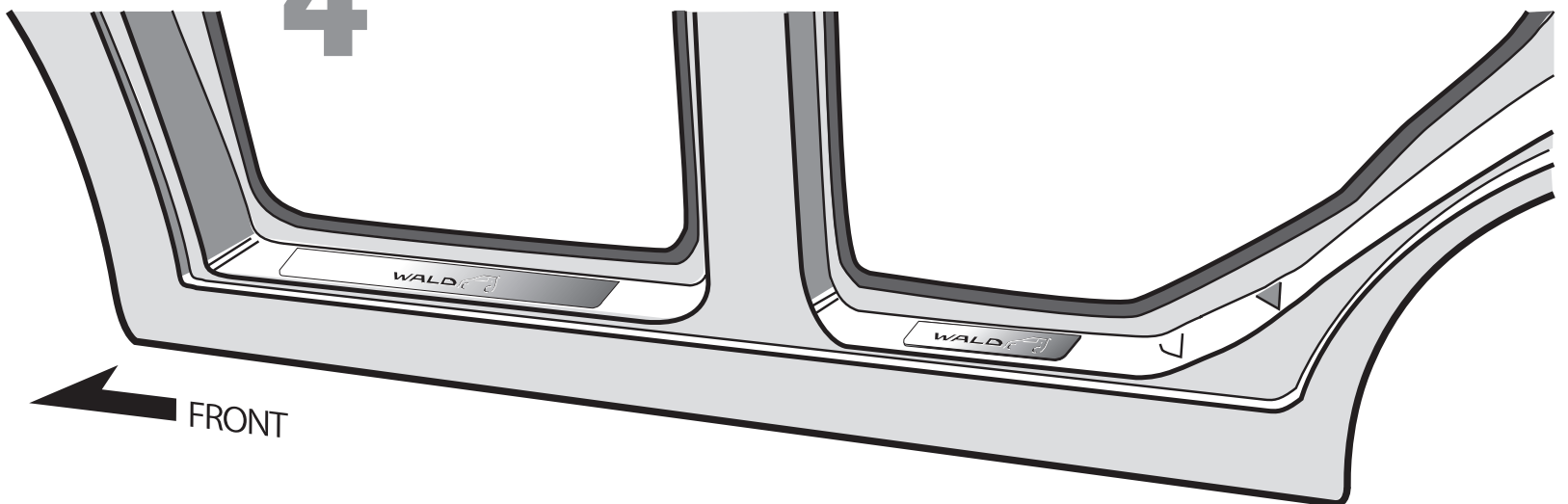


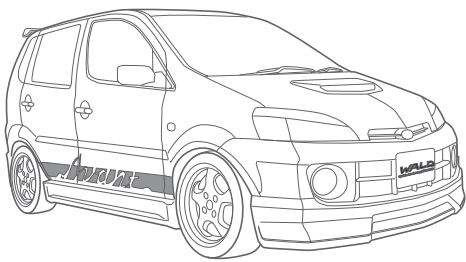
断面図 (左右共通)



## 完成図

# 4





# アヴァント ボディサイド デカール YRV 取付説明書

## ⚠ 注意

- ◆本製品を貼り付けた後、カッター等を直接部品の不要部分を切り抜くのは破損につながる恐れがありますのでおやめ下さい。
- ◆本製品を使用後剥がす際には、塗装と一緒に剥がれないように十分ご注意ください。指定外の所に本製品を使用するのはおやめ下さい。
- ◆本製品をお子様の手が届く場所に放置するのはおやめ下さい。又、用途以外の目的に使用するはおやめ下さい。
- ◆本製品は改良・改善の為、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承下さい。
- ◆商品開封時や、取り付け作業中に怪我をしないようにご注意ください。

## 製品について

- ◆お客様で本人または第三者の方が、この製品及び付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた損害については弊社は一切のその責任を負いませんので、予めご了承下さい。
- ◆本製品は改良自動車に適合するものではありません。改造自動車に装着する場合は法令で定められた改造申請等の届け出をして検査合格後にご使用下さい。但し、その場合自動車に損傷する事がありましても、弊社は一切のその責任を負いませんので、予めご了承下さい。
- ◆本製品及び付属品に改造などを加え、指定車両以外の自動車に取り付けて発生する不具合、自動車に損傷する事がある場合は、弊社は一切のその責任を負いませんので、予めご了承下さい。又、貼り付け後の返品には応じられませんのでご注意ください。
- ◆本製品の取り付け、及び取り外し作業中に損傷した本体及びボディに関し、弊社は一切のその責任を負いませんので、予めご了承下さい。
- ◆本品及び付属品は、改良のため予告なく変更する場合があります。

## 張り込む面のホコリや油分を取り除く

# 1

## 位置を決める

# 2

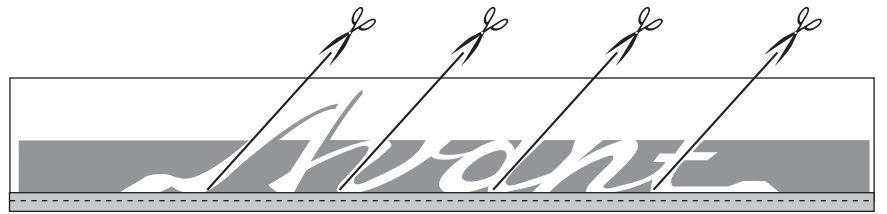
- ◆下図の位置にステッカーを合わせマーキングして下さい。



## 切り込みを入れる。

# 4

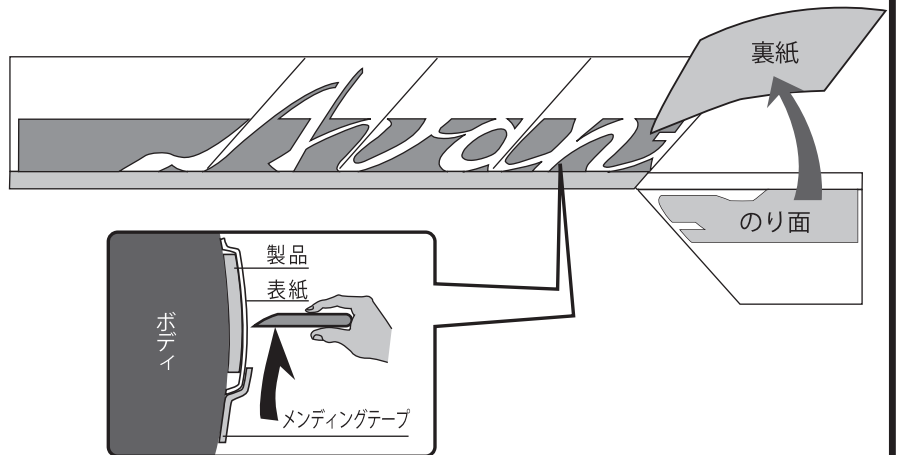
- ◆ステッカーをボディに合わせやすくする為にはさみで製品を切らない様、一部を残しカットして下さい。



## 裏紙をはがして、ボディに貼る。

# 5

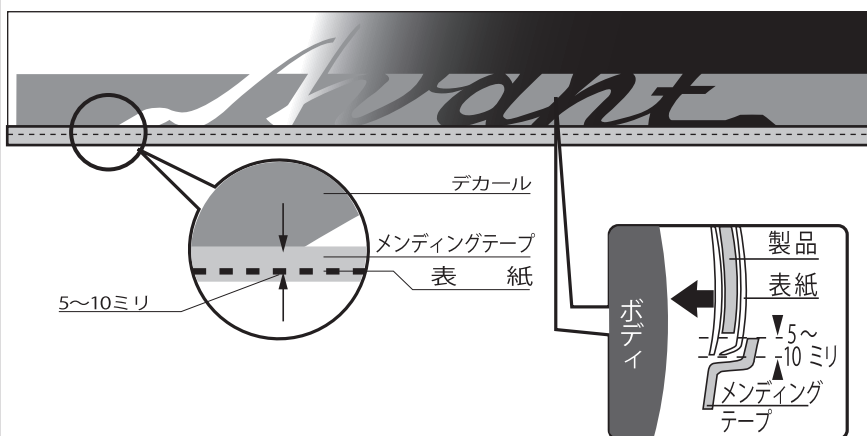
- ◆表紙を残して、裏紙を剥がし下から上へラ等で押さえる。
- ◆曲面等はしわにならないように注意して貼って下さい。



## マスキングテープを貼る。

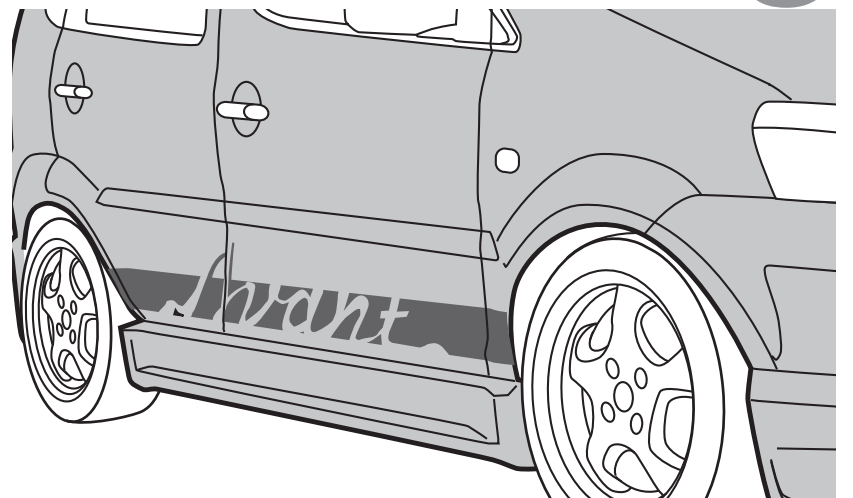
# 3

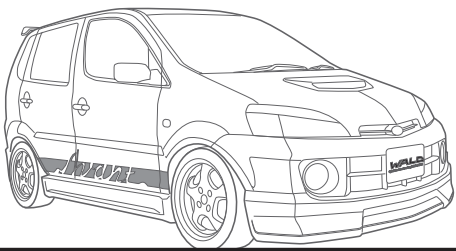
- ◆マスキングテープ(20 ~30mm 巾)を製品にかからないように貼る。



## 完成図

# 6





# YRV

# スタイリッシュテールパイプ 取付説明書

## 作業の際には、必ず 次の点検をして下さい。

- ①純正マフラー吊り下げ用ラバーステーに、ひび、などの劣化が生じていたら、純正品の新品に交換して下さい。
- ②再使用する純正のガスケットも十分に点検して、不良の場合は純正品に交換して下さい。

## 装着可能車種と製品仕様

■車名	ダイハツYRVターボ
■エンジン型式	TA-M201G
■車両型式	K3-VET
■年式	H12.8～
■製品名称	スタイリッシュ テールパイプ 2WD専用

## 構成部品リスト

■本体	1個
-----	----

## 本製品の装着について

- ◆本製品は本来、付属品で構成しています。装着作業の前に左記リストでご確認下さい。構成部品に不足、不具合がある場合はお買い上げの販売店または弊社までご連絡下さい。
- ◆装着作業前、装着作業中に製品を落としたり、無理な力を加えると変形して確実な作業ができず排気ガスもれや故障の原因に成る場合があります。十分に注意して下さい。
- ◆本製品を装着することによって、自動車メーカーオプションパーツ・エアロパーツ等が装着できなくなる場合があります。予めご了承下さい。

**警告** マフラーの装着作業は無理な姿勢が多いので怪我や腰痛のおそれがあり危険です。

**警告** 車の排気関係部品は高熱になります。火傷のおそれがあり危険です。

製品落下による怪我やむりな姿勢での腰痛に注意して下さい。

作業中の火傷に注意して下さい。

作業中の怪我に注意して下さい。

マフラーの装着は限られた箇所を同時に締め付ける作業や重い部品を下から支える作業が多いので、部品落下による怪我や無理な姿勢や重量物の持ち上げでおきる腰痛のおそれがあり大変危険です。1名では作業をしないで下さい。

排気関係の部品は熱いので触ると火傷をします。必ず部品が冷えてから作業を行って下さい。特に手の火傷を防ぐために必ず手袋を着用して下さい。

排気関係の部品は錆びてボルトやナットがゆるみにくいことがあります。必ず部品が冷えてからスプレー式の浸透性潤滑油を使用し適正な工具を使用して無理の無い作業を行ってください。特に手の怪我を防ぐために必ず手袋を着用して下さい。

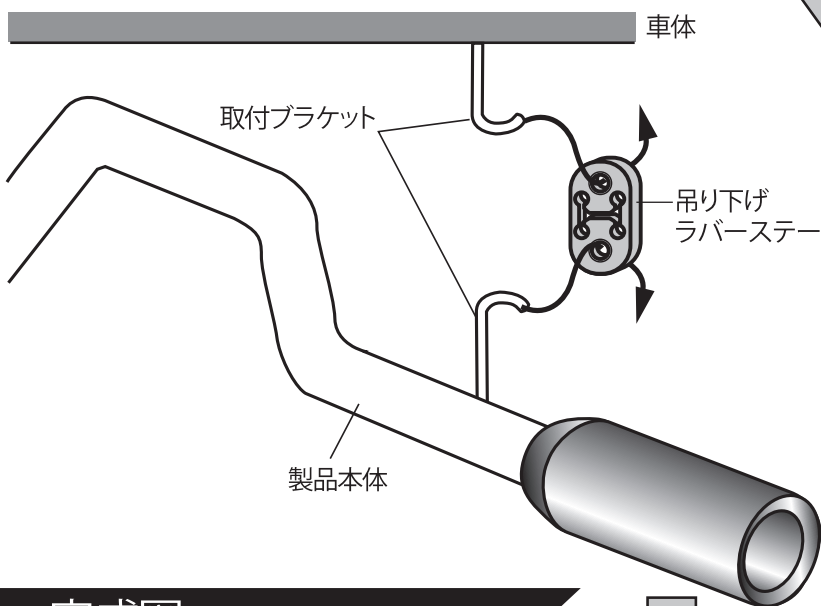
## 純正マフラーを外す。

- ◆マフラーの外し方はサービスマニュアルを参照して正しく取り外して下さい。

**注意** ◆外した車両のナット、ワッシャーやガスケットは本製品の取付の際に再度使用しますので、紛失等に十分注意して下さい。

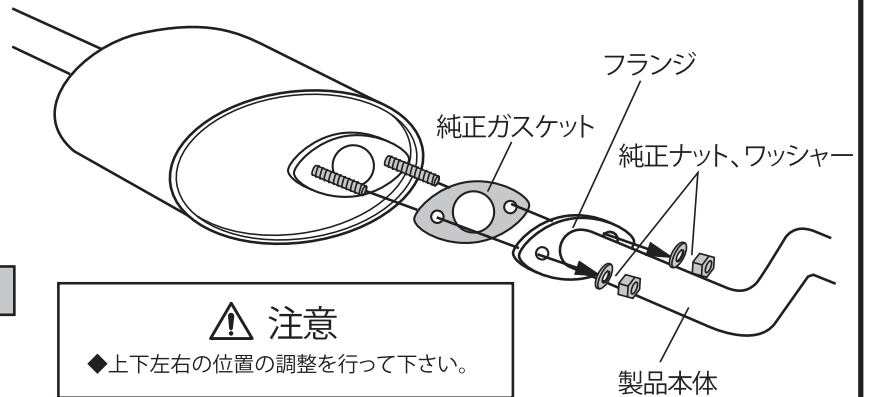
## 装着状態の確認

- ◆マフラーエンド部分の取付ブラケットを吊り下げラバーステーに純正と同様に差し込み、車体の取付ブラケットに差し込み固定して下さい。



## スタイリッシュテールパイプを取り付ける。

- ◆純正ガスケット、ナット、ワッシャーを使用してスタイリッシュテールパイプを仮止めし、3の作業の終了後、確実に固定して下さい。



**注意**  
◆上下左右の位置の調整を行って下さい。

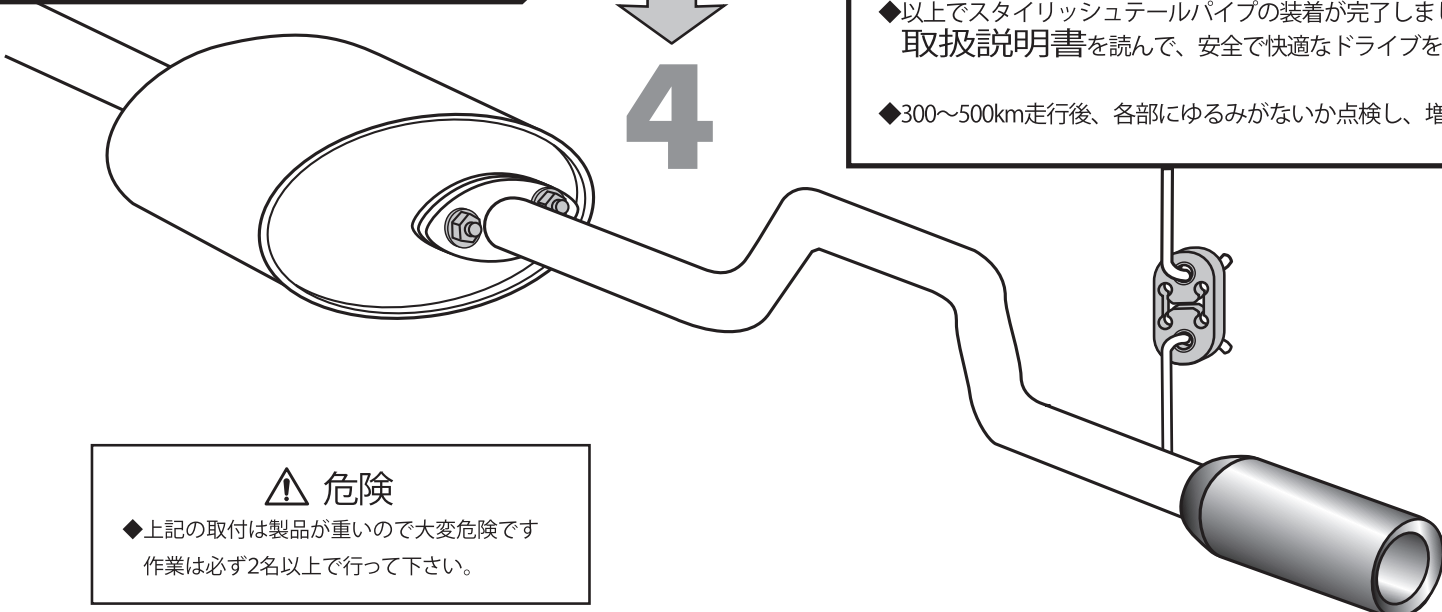
## 装着状態の確認

- ①全体の組み付けが完了したら、もう一度確認のためにマフラーを揺さぶって各部のクリアランスを点検して下さい。
- ②エンジンを始動して暖気し、2500～3000rpmに回転を上げ、各フランジからの排気ガスもれや騒音がしないか？確認して下さい。
- ③試運転して再度、各フランジからの排気ガス漏れや騒音がしないか？確認して下さい。
- ④①～④の項目に不具合があったら最初から締め直して下さい。

## 装着後の確認

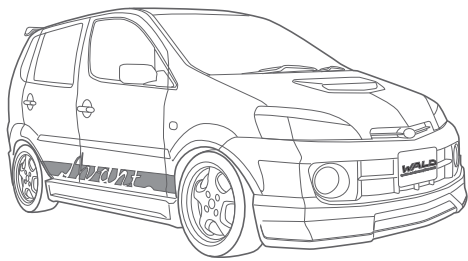
- ◆以上でスタイリッシュテールパイプの装着が完了しました。もう一度取扱説明書を読んで、安全で快適なドライブをお楽しみ下さい。
- ◆300～500km走行後、各部にゆるみがないか点検し、増し締めをして下さい。

## 完成図



## 危険

- ◆上記の取付は製品が重いので大変危険です。作業は必ず2名以上で行って下さい。



# YRV

# シートカバー 取付説明書

## △ 注意

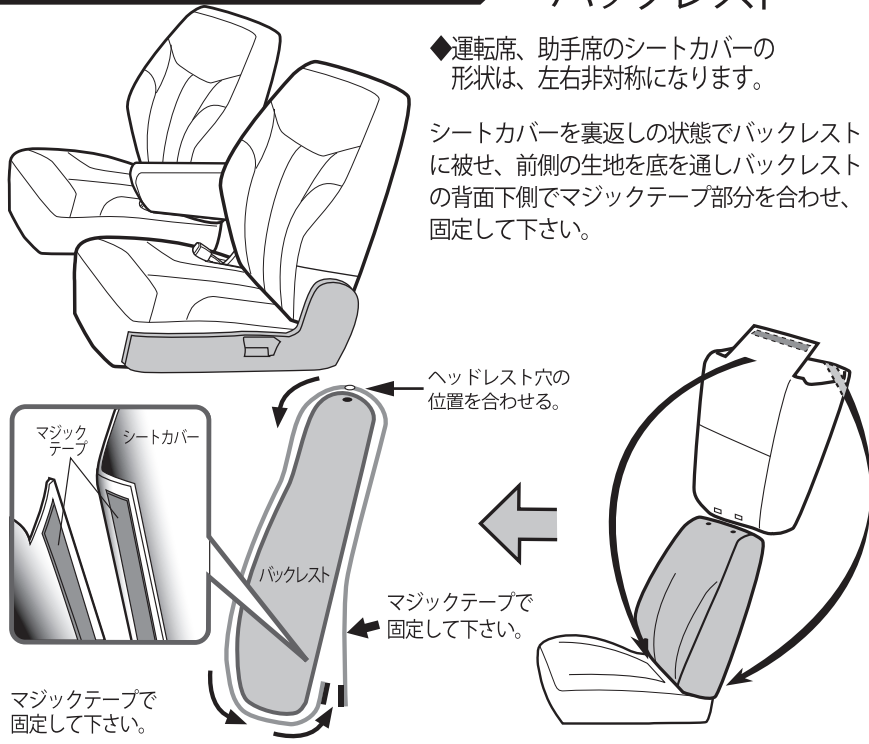
- ◆車種、タイプを確認してから取り付けて下さい。
- ◆取り付け上の不備による不具合及び、破損汚れの返品には応じられませんので御注意下さい。
- ◆よごれ等が付着した場合は、薄めた中性洗剤で拭き取って下さい。

## フロントシート

## バックレスト

- ◆運転席、助手席のシートカバーの形状は、左右非対称になります。

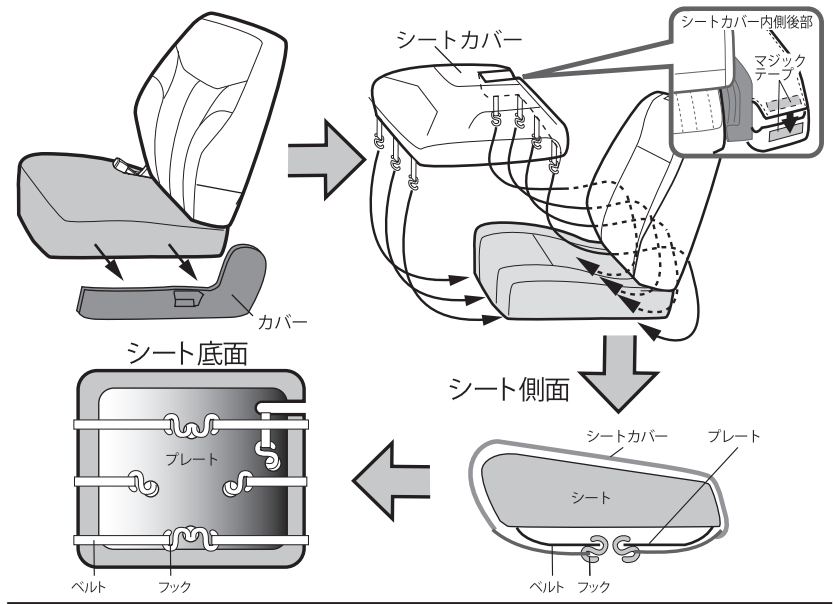
シートカバーを裏返しの状態でバックレストに被せ、前側の生地を底を通しバックレストの背面下側でマジックテープ部分を合わせ、固定して下さい。



## シート部分

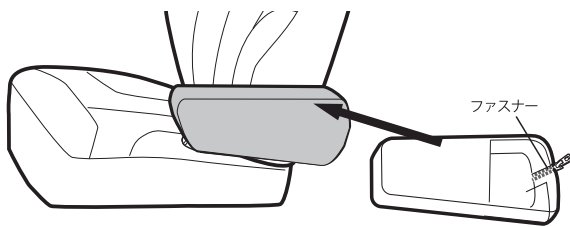
- ◆運転席、助手席のシートカバーの形状は、左右非対称になります。
- シート側面のシートカバーは予め外した方が、作業はスムーズです。

シートカバーをシート部分に被せ、シートベルトの切り込み部分に生地をきれいに差し込み、正確に取り付けて下さい。前後のフックをシート下のプレートの穴に引っかけ、しっかりと止めて固定して下さい。



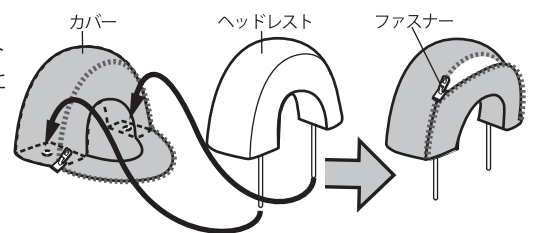
## アームレスト

アームレストカバーを服の袖を通す要領で差し込み、ファスナーでしっかり固定して下さい。



## ヘッドレストカバー

カバーの後ろ側からヘッドレストを差し込み、ファスナーで確実に止めて下さい。

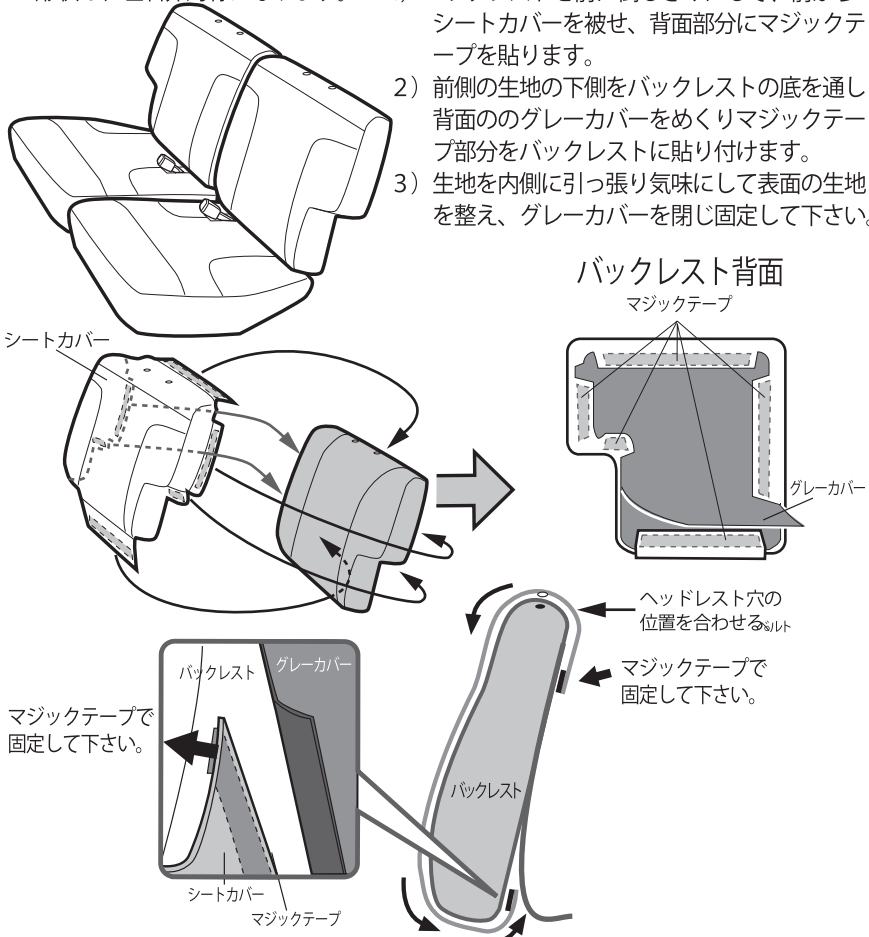


## セカンドシート

## バックレスト

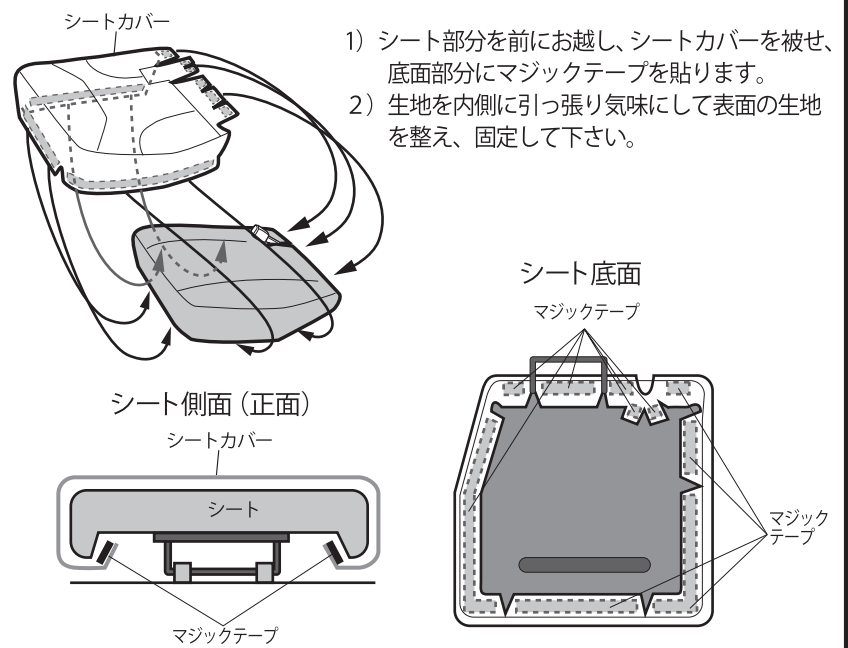
- ◆運転席、助手席のシートカバーの形状は、左右非対称になります。

- 1) バックレストを前に倒しぎみにして、前からシートカバーを被せ、背面部分にマジックテープを貼ります。
- 2) 前側の生地の下側をバックレストの底を通し背面のグレーカバーをめくりマジックテープ部分をバックレストに貼り付けます。
- 3) 生地を内側に引っ張り気味にして表面の生地を整え、グレーカバーを閉じ固定して下さい。



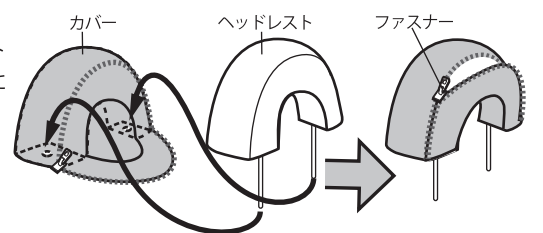
## シート部分 ◆運転席、助手席のシートカバーの形状は、左右非対称になります。

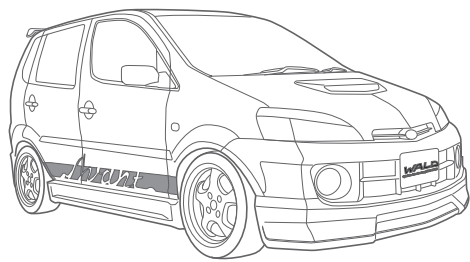
- 1) シート部分を前にお越し、シートカバーを被せ、底面部分にマジックテープを貼ります。
- 2) 生地を内側に引っ張り気味にして表面の生地を整え、固定して下さい。



## ヘッドレストカバー

カバーの後ろ側からヘッドレストを差し込み、ファスナーで確実に止めて下さい。





# カラーメーターデカール YRV 取付説明書

## ⚠ 注意

- ◆本製品を貼り付けた後、カッター等を直接部品の不要部分を切り抜くのは破損につながる恐れがありますのでおやめ下さい。
- ◆インストルメントパネルは防水加工ではありませんので、取り扱いには十分ご注意ください。
- ◆本製品を使用後剥がす際には、塗装やシール等と一緒に剥がれないように十分ご注意ください。指定外の所に本製品を使用するのはおやめ下さい。
- ◆本製品をお子様の手の届く場所に放置するのはおやめ下さい。又、用途以外の目的に使用するはおやめ下さい。
- ◆本製品は改良・改善の為、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承下さい。

## 製品について

- ◆お客様ご本人または第三者の方が、この製品及び付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた損害については弊社は一切のその責任を負いませんので、予めご了承下さい。
- ◆本製品は改良自動車に適合するものではありません。改造自動車に装着する場合は法令で定められた改造申請等の届け出をして検査合格後にご使用下さい。但し、その場合自動車が損傷する事がありましても、弊社は一切のその責任を負いませんので、予めご了承下さい。
- ◆本製品及び付属品に改造などを加え、指定車種以外の自動車に取り付けて発生する不具合、自動車に損傷する事がありましても、弊社は一切のその責任を負いませんので、予めご了承下さい。又、貼り付け後の返品には応じられませんのでご注意ください。
- ◆本製品の取り付け、及び取り外し作業中に損傷した本体及びパネルに関し、弊社は一切のその責任を負いませんので、予めご了承下さい。
- ◆本品及び付属品は、改良のため予告なく変更する場合があります。

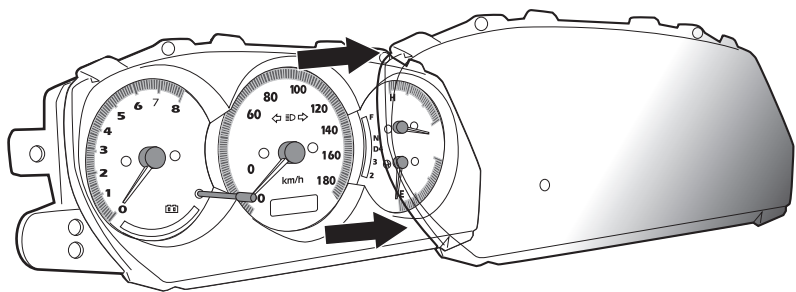
## 取り付けの前に

- ⚠ 注意 メーターの取り外し及びパネル交換や分解は、破損の原因となりますので、お近く販売店にご相談下さい。
- ⚠ 注意 本製品を取り付けの際は、パネルのみの交換です。メーター本体の交換は、走行距離の改ざんとなる場合がありますので、充分ご注意ください。
- ⚠ 注意 商品開封時や、取り付け作業中に怪我をしないようご注意ください。
- ⚠ 危険 本製品装着後、メーターが見にくい、または幻惑されると思われる場合はご使用を中止して下さい。
- ⚠ 危険 夜間、メーターパネルの照明が眩しい場合はメーターの照明高度の調整を行って下さい。又、調整出来ない車は、メーター球の照度の低いもの、又は別売りのパネルカバー等で照度をおさえるか、球を減らす等々で対応して下さい。それでも解消されない場合は、安全のためご使用を中止して下さい。

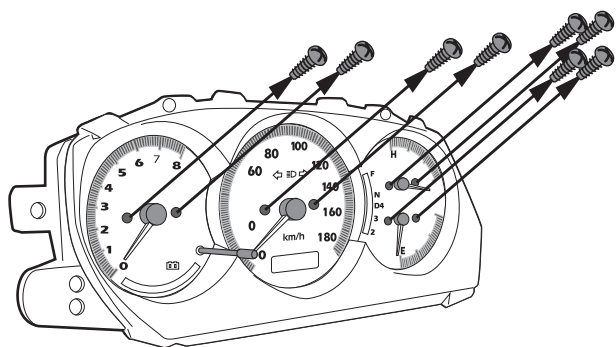
### 1 インストルメントパネルを外す。

- ◆インストルメントパネルの外し方はサービスマニュアルを参照して正しく取り外して下さい。

### 2 アクリルカバー部品を外す。

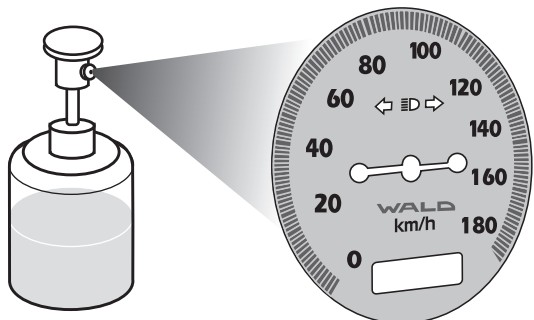


### 3 アクリルカバー部品を外す。



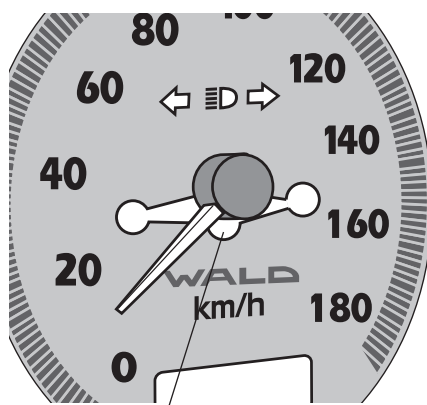
### 4 デカール裏に キリフキ等で水をつける。

- ◆裏紙を剥がしてからキリフキで水を付けて下さい。



- ⚠ 注意
- ◆水を使用して貼り付ける場合はメーター内に水を入れないようにして下さい。

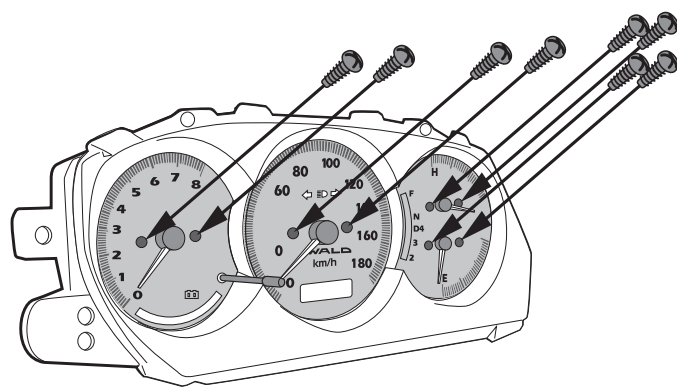
### 5 デカールの切れ目にメーターの 針を通して慎重に貼り合わせて下さい。



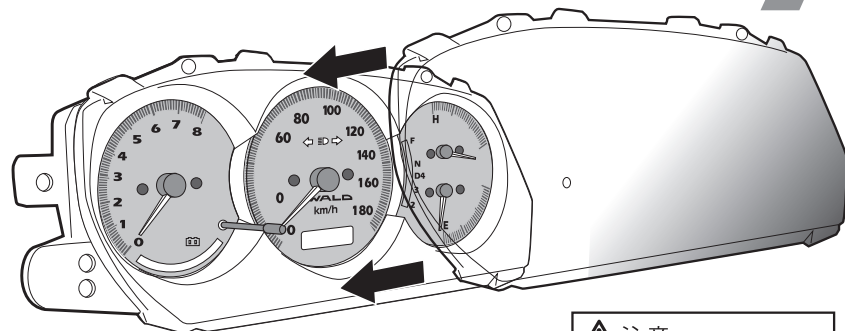
切れ目

- ⚠ 注意
- ◆針の取り扱いには十分注意をして下さい。

### 6 充分自然乾燥してからメータービス (8カ所) を止めて下さい。



### 7 アクリルカバー部品をはめ、 1.の作業の逆の手順で取付けて下さい。



- ⚠ 注意
- ◆ツメが充分入っているかどうか確認して下さい。(3カ所) 入っていないと破損の原因になります。